

授業科目 解剖学 I

【担当教員名】 鈴木 了、山田 まりえ		対象学年	1	対象学科	言語	
		開講時期	前期	必修・選択	必修	
		単位数	2	時間数	30	
【<概要>又は<一般目標：G I O>】 解剖学 I では、人体の基本的構造を全体的に理解し、特に発声発語器官である口腔・鼻腔・咽頭・喉頭について、及び聴覚器官である外耳・中耳・内耳についてそれぞれの構造と機能を理解する。さらに言語と聴覚に関する中枢神経系と末梢神経系を理解する。また、頭蓋・顔面部の発生の概略を理解し、口腔・顎顔面部の先天異常の発生を考察する。						
【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】 1. 解剖学、形態学とは何かを説明できる。 2. 組織を構成する細胞の構成要素の名称と簡単な機能を概説できる。 3. 主な骨、骨格筋の名称、位置を説明できる。 4. 心臓の位置、各部位の名称を言える。大循環・小循環を説明できる。 5. 消化器系の諸器官、その付属器の名称、位置を説明し、その働きを概説できる。 6. 呼吸器系、泌尿生殖器系を後制する器官の名称、位置を説明出来る。 7. 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭を構成する各部位の名称と機能を説明できる。 8. 外耳・中耳・内耳の構造と機能を説明できる。 9. 口腔・顎顔面部の発生の概略を理解し、説明できる。 10. 摂食・嚥下について解剖学的に説明できる。 11. 中枢神経系、末梢神経系の構成を概説できる。 12. 聴覚伝導路をコルチ器から大脳皮質まで順にたどることができる。						
回数	授業計画又は学習の主題			SBO		
				番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員	
1	解剖学序論	解剖学とは	組織学総論	細胞と四大組織	1, 2	講義
2	骨格系	骨の構造と種類	骨の連結		3	〃
3	筋系	筋の構造と種類	主な骨格筋		3	〃
4	循環器系	血管とは	心臓	大循環と小循環	4	〃
5	内臓系 1	消化器系	呼吸器系		5	〃
6	内臓系 2	泌尿生殖器系	内分泌系		6	〃
7	感覚器と神経系	感覚器と神経系のあらし			11	〃
8	発声発語器官 1	口腔、鼻腔、咽頭			7, 10	〃
9	発声発語器官 2	喉頭			7	〃
10	平衡聴覚器 1	外耳と中耳			8	〃
11	平衡聴覚器 2	内耳			8	〃
12	ヒトの発生	頭頸部、顎顔面部の発生			9	〃
13	神経系 1	末梢神経系と中枢神経系			11	〃
14	神経系 2	知覚の伝導路			12	〃
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>	
教科書		入門人体解剖学	藤田恒夫	南江堂	2000年	5000円
参考書						
その他の資料		プリントの配布				
【評価方法】 出席状況・態度、期末試験の総合評価			【履修上の留意点】 短期間で広範囲の内容を勉強します。欠席をせず、復習をすることが重要です。			